

【セミナー開催のご案内】

経営に関する幅広いテーマでのセミナーを毎月開催しております。
今回は飛翔法律事務所との合同開催です。テーマは経営における「判断」です。
皆様のご参加お待ちしております。

GPC-Tax船場総合会計事務所
所長税理士 鈴木和宏



【弁護士法人 飛翔法律事務所・GPC-Tax合同開催セミナー】シリーズ8

- ◆日時： 8月26日(月) 18時30分～20時40分 (受付開始18時～) ※終了後、懇親会を予定しております。
- ◆会場： 大阪産業創造館5F 研修室AB (地下鉄「堺筋本町駅」中央線2番出口、堺筋線12番出口、より徒歩約5分)
- ◆セミナー参加費： 3,000円 ※弊所顧問先様は無料です。セミナー代金は当日お支払下さい。領収書を発行致します。

◆第1講座：営業と経営編 18時30分～19時30分

経営判断のための指針6カ条

1. 常に『アッパーニッチ』(×ロアマス)を目指します。
2. 『エコ最良の経営』(×総花的な経営)を行います。
3. まず『地上戦の営業』(×空中戦の営業)を企てます。
4. 『ワンマンな経営』(×協議の経営)を行います。
5. 『程度加減の判断』(×YESかNOの判断)を意識しながら経営します。
6. 『ベターな経営』(×ベストの経営)を目指します。

▶今、下した **判断** が、貴社の未来を決めています！
社長様、あなたは何を基準に判断していますか？
経営判断の基準について考えてみませんか。

▶講師：GPC-Tax本部
会長 田中英司

◆第2講座：法律と経営編 19時40分～20時40分

訴訟・調停で勝つためのポイント！

1. 訴訟と調停の基本構造
2. 調停を活用すべき場面
3. 調停の勝ち方とその核となるポイント
4. 訴訟で勝つための基礎と応用
5. 証人に関する重要ポイントと証人尋問
6. 勝訴に導く日頃のビジネス作法

▶この **判断** で勝つ！訴訟・調停で勝つためのポイント！
裁判や調停に勝つためのポイントをお伝えします。
経営者や幹部が知っておくべき、
勝ち方のポイントを凝縮した解説がこのセミナーです。

▶講師：弁護士法人 飛翔法律事務所
代表弁護士 五島洋

【講師略歴】



▶弁護士法人
飛翔法律事務所
代表弁護士
五島洋

岡山大学法学部卒業、同志社大学大学院法学研究科博士前期課程修了。大学院在学中に司法試験に合格。平成10年弁護士登録し、弁護士法人飛翔法律事務所の代表弁護士。企業法務を専門分野としており、契約書の「ラッシュアップ」による予防法務、M&A、コンプライアンス、IPOを中心としたベンチャーサポート、知的財産関係、ITビジネス、バイオ、企業再生関係等を専門分野とする。なお、同志社大学の産学連携組織である「特定非営利活動法人同志社大学産官学連携支援ネットワーク」(理事長は同志社大学長)において副理事長として活動中。契約書関連の著作として、「実践契約書チェックマニュアル」「ビジネス契約書式100例」(経済産業調査会)を事務所内共著として出版している。(http://www.hisho-law.jp/)



▶GPC-Tax本部
会長 田中英司

同志社大学工学部卒業、ガイッ工業入社(生産技術部)、船井総合研究所入社(経営コンサルタント)、クリエイティブ・サポート設立(独立・経営コンサルタント)、2000年3月27日にビーズネットを設立(代表取締役就任)、2002年9月10日に大阪証券取引所ハコリス市場(旧・ナスダックジャパン)に上場。システム&インベストメントのビジネスモデルを掲げて、総額100億円強のベンチャー企業投資を行う。2007年11月26日に代表取締役・取締役を辞任。在職中は、大阪商工会議所1号議員、同ベンチャー振興委員会副委員長、同情報通信部会副部会長、同中堅・中小企業委員会委員、同だいたいベンチャークラブ代表幹事と幹事、栈ネット幹事と協賛企業、大商EVEシステム審査委員、産業創造館IAG審査委員、関西を元気にする会理事(以上は2007年10月30日退任)。2002年アトミック・オブ・ジャパン・グループ部門セフィアリスト、2007年第1回日中韓若手経済人コンテスト「優秀若手経済人賞」受賞、等々…現在(株)SP総研代表取締役、顧問先、非常勤取締役多数、税理士支援業務・GPC-Tax事業スタート、GPC-Tax本部長就任。

◆お申込みフォーマット◆ 下記項目ご記入の上、FAX送信して下さい。

(フリガナ) ◆貴社名	(フリガナ) 1.お名前
◆電話番号	◆役職
◆メールアドレス @	
◆複数名でのお申込み	
2.お名前	役職
3.お名前	役職
◆お問い合わせ先◆ GPC-Tax船場総合会計事務所 TEL：0120-655-955 / メールアドレス：info@gpc-senba.jp	

送信FAX番号：06-6265-1520

☐ FAX停止希望

※お手数ですが、貴社名・FAX番号を明記の上、ご返信ください。

◆貴社名

◆貴社FAX番号